

読み聞かせのコツ

絵本は、様々な知識が身に付き、想像力や集中力といった感性や発達に良い影響を与えます。

そんな絵本をどうしたら子ども達は集中して聞いてくれるのでしょうか。

子ども達が集中して楽しみながら聞いてくれるコツをご紹介します。

まず、「声の抑揚」「声の大きさ」そして「子ども達の絵本を見る姿勢」の3つです。

「声の抑揚」は絵本を読み進める中で物語の中にある場面展開に合わせて声の強弱をつけて読みます。

また、場面に合わせて表情を変えて話すのも良いですね。

表情を作る事で感情がついてきて、より魅力的な読み聞かせになります。

「声の大きさ」は、少し「声の抑揚」と重複しますが、場面に合わせて声の音量を調整します。

音量を調整する事で子どもが自然に耳を済ませたり、驚いたりとお話の世界に集中出来るようになります。

最後に「子どもの位置」ですが、普段絵本を読み聞かせする時、ひざの上だったり、ベッドの中で横になっていたり、と様々です。

子どもが安心できる位置であれば、どこでも良いのですが、絵本を楽しませたいのなら隣に座らせて、またしっかりと集中して聞かせたいのなら、正面に座って少し距離を離して読むのも良いですね。

子どもは好奇心が旺盛ですから、いろいろ事に興味関心が向けられます。

落ち着いて絵本に集中させるには、絵本自体の魅力や子どもの興味にあったものを選んでいるかも大事ですが、読み手に魅力がないと集中出来ない子どももいます。

感情表現や抑揚を使って絵本の世界を作り上げていく事によって子ども達の反応も変わり、想像力をさらに膨らませてくれる事でしょう。